

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	中国語
科目基礎情報						
科目番号	0189		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	中国地区高専中国語中国教育研究会「理系のための中国語入門」 (好文出版)					
担当教員	亀山 太一,熊谷 暁子					
到達目標						
①発音記号をみて発音ができるようになる。 ②中国語コミュニケーションの経験をつむ。 ③基本的な語彙と文法をみにつける。 ④中国語圏の人々の生活・文化・習慣について知識を得る。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
発音記号をみて発音ができるようになる	発音記号を見て発音する問題を正確に解くことができる。		発音記号を見て発音する問題をほぼ正確に解くことができる。		発音記号を見て発音ができない。	
中国語コミュニケーションの経験をつむ	中国語コミュニケーションの演習課題を十分にこなすことができる		中国語コミュニケーションの演習課題をほぼこなすことができる		中国語コミュニケーションの演習課題をこなすことができない	
基本的な語彙と文法をみにつける	基本的な語彙と文法に関する問題を正確に解くことができる。		基本的な語彙と文法に関する問題をほぼ正確に解くことができる。		基本的な語彙と文法に関する問題ができない。	
中国語圏の人々の生活・文化・習慣について知識を得る	中国語圏の人々の生活・文化・習慣に関する問題を正確に解くことができる。		中国語圏の人々の生活・文化・習慣に関する問題をほぼ正確に解くことができる。		中国語圏の人々の生活・文化・習慣に関する問題をほぼ正確に解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	初級の中国語の発音、会話、聴解の能力を身につけ、基礎的な文法事項の理解を深める。					
授業の進め方・方法	テキストの本文、文法解説、練習問題に沿って学習する。練習問題は課題として家庭学習をすること。ペア・グループワークで会話や読解練習をするなど、演習形式の授業を行う。					
注意点	中国語には「学校、生活、道路」など日本語と同じの意味の単語が多くある。現在の中国語で使われている簡体字と表記のルールを理解すれば簡単に理解できる単語も少ない。中国語は日本人には親しみ易い言語であり。授業においては中国語の基礎文法と発音及び日常の常用表現を学び、基礎と実践的な力の習得を目標とする。また中国人の価値概念や生活習慣などを感じ取りながら、中国社会への理解を深め、学んだ中国語を、将来のキャリアの中で使うことを目指して下さい。 毎回課題の確認と理解を深めるための指導がある。予習と復習を前提として授業を行うので予備学習として下記の3つを行うようにしてください 1. 繰り返しテキストを音読する (15分以上) 2. 本文、文法事項を読んで、練習問題を解く (30分以上) 3. 授業で習ったことを復習する。単語を覚える (30分以上)					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第1回：授業内容の説明とウォーミングアップ		中国語の音声と文字等の特徴や学習方法が理解できる	
		2週	第2回：四声とピンインの発音練習		発音の方法と特徴が理解できる	
		3週	第3回：鼻母音・子音と無(有)気音		中国式ローマ字の発音を理解できる	
		4週	第4回：声調変化・アル化音“i”の学習		声調の特徴を理解することができる	
		5週	第5回：発音練習とまとめと確認		中国語の発音特徴の理解度を確認できる	
		6週	第6回：数字と有無、疑問詞の多少など		基数と単位、数字の疑問表現を理解できる	
		7週	第7回：日付、年号の言い方と“是”		日付、年号と動詞“是”の理解ができる	
		8週	第8回：曜日、名前の言い方		曜日と名前の聞き方・言い方ができる	
	2ndQ	9週	第9回：疑問詞疑問文と初対面の挨拶		疑問詞疑問文と挨拶の表現ができる	
		10週	第10回：SVOの文型、お金の関連表現		動詞述語文とお金の言い方が理解できる。	
		11週	第11回：指示代名詞、疑問詞のまとめ		指示代名詞と疑問詞が理解できる。	
		12週	第12回：在・有や反復疑問文の言い方		在、有と単位や反復疑問文が理解できる。	
		13週	第13回：形容詞述語文、副詞“太”及び助動詞の用法		形容詞述語文や助動詞の用法の理解ができる。	
		14週	第14回：時刻、可能、前置詞の表現		時刻、可能の前置詞が理解できる。	
		15週	期末試験			
		16週	第15回：時間量、完了型、前置詞の～からの表現		時間量、完了型、起点の前置詞の理解ができる	
後期	3rdQ	1週	第16回：進行形、主述述語文、語気助詞の用法		進行形、主述述語文、語気助詞の用法が理解できる。	
		2週	第17回：経験、程度の副詞、是～的の構文の表現		経験、程度の副詞、是～的の構文の表現が理解できる	
		3週	第18回：二重目的語、比較と使役の表現		二重目的語、比較と使役表現を理解できる	
		4週	第19回：復習とまとめ		アスペクト表現の理解度を確認できる	
		5週	第20回：自己紹介と歓迎会の表現		自己紹介と歓迎会の場面の表現ができる	
		6週	第21回：本文の読解と表現練習		様態補語使った長文の読解ができる	
		7週	第22回：食事とカラオケの表現		食事とカラオケの表現が理解できる	
		8週	第23回：本文の読解と表現練習 結果補語と可能補語		長文の読解ができる。結果補語と可能補語を使った表現ができる。	
	4thQ	9週	第24回：買い物ときの表現		買い物の場面の表現が理解できる。	
		10週	第25回：本文の読解と表現練習 仮定の表現と“把”構文など		本文の読解ができる。仮定の表現と“把”構文を使った表現ができる。	

	11週	第26回：タクシーに乗るときの表現	タクシーに乗る場面の表現が理解できる。
	12週	第27回：本文の読解と表現練習 方向補語や禁止の表現	本文の読解ができる。方向補語や禁止の表現を使った表現ができる。
	13週	第28回：携帯電話に関する表現	携帯電話に関する表現が理解できる。
	14週	第29回：本文の読解と表現練習 と 携帯電話の関連用語の学習	長文の読解ができる。携帯電話の関連用語を使った表現ができる。
	15週	期末試験	
	16週	第30回：パソコン使用時の表現 パソコンの関連用語の学習	本文の読解ができる、パソコンの関連用語を使った表現ができる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	

評価割合

	試験	合計
総合評価割合	200	200
試験	200	200